

紋別アイヌ協会の市民学習会

大学から帰ってきた 紋別のアイヌ遺骨

2019年6月23日(日)

13:30-15:30

会場 紋別市立博物館
紋別市幸町3丁目1-4

入場無料

報告1 札幌医科大学から紋別に帰ってきた
アイヌ民族の遺骨について
佐藤和利・元 紋別市立博物館館長

報告2 アイヌ遺骨を大学から地元に取り戻す意義
木村二三夫・平取アイヌ遺骨を考える会共同代表

報告3 アイヌ遺骨DNA抽出研究の倫理的問題点
殿平善彦・北大開示文書研究会共同代表

紋別市渚滑町の柳沢遺跡から出土し、「研究のために」長らく札幌医科大学(札幌)に留めおかれていたアイヌ女性の遺骨が今年春、ようやく帰郷を果たしました。紋別市教育委員会と紋別アイヌ協会がいま、慰霊の準備を進めています。

このお骨はなぜかくも長い間、故郷から引き離されたままだったのか？ もの言わぬアイヌ遺骨なら勝手にDNAを調べても許される？ とともに学びあい、考えましょう。

主催 紋別アイヌ協会

協賛 アイヌ政策検討市民会議

後援 モシリ・コル・カムイの会

コタンの会

少数民族懇談会

北大開示文書研究会

お問い合わせ 紋別アイヌ協会

電話 090-8634-5798

FAX 01582-3-9025